

総務教育常任委員会資料

(令和8年8月21日)

【件名】

- ・ 令和7年度「教育行政の点検及び評価」について (教育総務課) …… 2
- ・ 令和8年度全国学力・学習状況調査における鳥取県の結果について
(小中学校課) …… 4
- ・ 高等学校等教育改革促進事業の再申請状況について (高等学校課) …… 27

教 育 委 員 会

1 教育行政の点検及び評価について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、教育委員会は毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うこととされており、この度、鳥取県教育振興基本計画に定める施策項目について、別冊のとおり点検及び評価を実施しましたので、その結果を報告します。

2 点検及び評価の概要(抜粋)

(1) 総括

鳥取県教育委員会は、鳥取県教育振興基本計画に基づき「自立して心豊かに 幸せな未来を創造する ふるさとととりの人づくり」を基本理念に掲げ、「ふるさとキャリア教育」をすべての教育施策の基軸として推進している。

令和7年度の目標数値に対する達成状況について、全143項目の指標のうち、目標達成(100%以上・A評価)が28項目、概ね達成(90%以上100%未満・B評価)が82項目とあわせて76.9%(令和6年度 81.8%)となった。

基本理念を実現するため、目標ごとに各種取組を実施しており、取組の評価や課題、目標数値に対する達成状況などを踏まえ、今後の取組の推進、次年度以降の施策の検討等に生かしていく。

※各種取組については、別冊4ページ(全体総括)及び6ページ以降(目標ごとの取組と評価)に掲載。

人口減少、地域の活力低下が叫ばれる中、今後は、市町村教育委員会と一体になった学力向上、不登校対策の充実や学校・家庭・地域の連携・協働による学校運営協議会(コミュニティ・スクール)と地域学校協働活動の一体的推進等だけでなく、知事部局や県内の産業界、高等教育機関と連携を図り、県立高校の魅力の創出、再編改革の実行に取り組むとともに、ワクスタフェスの開催など、鳥取県に誇りと愛着を持ち、将来にわたりふるさと鳥取を支えていくことができる子どもたちを育てる教育行政の実現に努める。

(2) 目標数値・実績の達成状況

(教育委員会に係る指標のみ)

目標		評価内容			
		A	B	C	合計
1	社会全体で学び続ける環境づくり	2	6	1	9
2	主体的に学ぶ力を育む学校教育の推進	16	46	19	81
3	多様な教育ニーズに応じた誰一人取り残さない学びの創造	4	12	6	22
4	学びを支える教育環境の充実	5	11	3	19
5	生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進	1	7	4	12
6	文化、伝統、豊かな自然の継承、再発見、芸術の創造	—	—	—	—
合計		28	82	33	143

目標を達成した主な指標(A評価) ※括弧内は(実績/目標)

- ・「自分には、よいところがあると思う」児童生徒の割合(小6:86.8%/85.0%、中3:85.0%/85.0%)
- ・「将来は今住んでいる地域や鳥取県で働きたい」高校生の割合(55.3%/55.0%)
- ・「いじめが解消しているもの」の割合(80.8%/全国平均を上回る(76.1%))

目標を達成できなかった主な指標(C評価)

- ・児童生徒に対して、前年度に、教科等の指導に当たって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱った学校の割合(中3:63.9%/80%)
- ・鳥取県体力・運動能力調査において、体育の授業を除く1日の運動時間が1時間以上の児童の割合(小5男:52.8%/70%、小5女:31.8%/50%)
- ・学校いじめ防止基本方針の点検を実施した学校の割合(小:89.7%、中:89.3%/小中いずれも100%)

(3) 目標ごとの評価(特に力を入れたい25の施策に対する評価)の主なもの

〔目標1 社会全体で学び続ける環境づくり〕①社会全体で取り組む教育の推進

学校運営協議会(コミュニティ・スクール)や地域学校協働活動を推進する市町村への財政支援を行ったほか、社会教育主事(士)を養成する社会教育主事講習や鳥取県地域コーディネーターのフォローアップ研修等を実施。

評価	地域学校協働本部を設置している学校の割合が向上(R6:74.9%→R7:79.8%)し、学校・家庭・地域の連携・協働体制が強化された。また、社会教育人材の養成や研修の実施により、関係者の専門性向上につながった。
課題と今後の取組	コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けて、制度に関する理解促進を図り、教職員においても社会教育の視点や専門性を高める取組を進めていくことが求められる。引き続き、研修会の開催や地域学校協働活動事例集を活用した好事例の継続的な発信等により、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の更なる充実に向けた取組を行っていく。

[目標2 主体的に学ぶ力を育む学校教育の推進] ④確かな学力の育成	
「とっとり学力・学習状況調査」を実施し、得られたデータを分析して個別最適な学びに生かす分析方法説明会を東・中・西各地区で実施した。また、資質・能力を育成する授業づくりや次期学習指導要領を見据えた授業づくりを推進した。	
評価	とっとり学力・学習状況調査において、小学校国語、算数ともに、どの学年も学力レベルが昨年度より1から2伸びた。
課題と今後の取組	全国学力・学習状況調査において、小・中とも全教科で全国平均を下回る結果となり、「思考力、判断力、表現力等」だけでなく、「知識及び技能」を問う問題にも課題が見られた。 <u>基礎学力定着のほか、指導主事と学力向上支援員で構成する「とっとり学力向上支援チーム」による継続的・重点的な学校訪問、CBT方式による単元到達度評価問題の定期的実施などに取り組む。</u>
[目標3 多様な教育ニーズに応じた誰一人取り残さない学びの創造] ④県立夜間中学における自分らしい学びの展開	
開校2年目となる県立夜間中学「まなびの森学園」において、『学ぶ』よろこび、『つながる』よろこび、『社会の中で生きる』よろこびの実現に向けて、一人一人に寄り添う教育活動を実施した。	
評価	生徒アンケートの「学校で安心して学んだり、生活したりしている」「仲間とつながりを持ち、力を合わせて活動している」など学校のコンセプトや「3つのよろこび」に係る項目で、生徒全員の肯定的回答が得られた。また、令和7年度は2名が卒業し、2名とも高等学校へ進学した。
課題と今後の取組	より一層生徒一人一人の状況に応じた学びの提供に努めるとともに、広く夜間中学に係る情報発信を行い、学び直しができる機会があることの周知徹底に努める。
[目標5 生涯にわたる健やかな体づくりと運動、スポーツの推進] ①健やかな心と体づくりの推進	
遊びを通して運動を行う「遊びの王様ランキング」、県にゆかりのあるトップアスリートを入材バンクとして登録し、希望する学校へ派遣して実技指導や講演等を行う「トップアスリート派遣事業」、地域の入材を学校に派遣する「とっとり元気キッズ体力向上支援事業」等を実施し、児童生徒の運動意欲、運動機会の充実を図った。	
評価	トップアスリートと子ども達との交流によって、スポーツに関心を持ち意欲的に取り組む児童生徒が増えている。また、全国体力テストの結果を見ると、いずれの学年も全国平均値を上回り、種目別では、いずれの学年も全国平均以上の種目が多い。
課題と今後の取組	運動意欲がある、体育が楽しいと感じる割合は高い水準で推移しているが、体育以外の運動時間は減少傾向にあり、スクリーンタイムは長時間となる傾向にあることから、生活習慣と体力には関係があることを周知する啓発チラシを作成する等、地域や家庭と連携した取組を進めていく。

(4) 重点取組事業の評価の主なもの

○小中高校生への地元定着促進事業……進捗状況[予定どおり]

- ・「親子でおしごと体験ツアー」に児童・保護者計115名が参加したり、ふるさとを30秒動画で紹介する「ふるさとキャリア教育CMコンテスト」に200点の応募があるなど非常に多くの参加があった。ふるさとキャリア教育フェスティバルにおいて、探究学習や親子でおしごと体験ツアーの成果発表等を行い、ふるさとキャリア教育の取組を発信した(参加約400名)。
- ・高校生を対象に、地元企業と連携したインターンシップのほか、経営者・若手社員による講座や企業見学等を実施し、県内企業の魅力発信を行った。事業委託者が学校に積極的に働きかけた結果、前年度を上回る多くの高校生が参加し、地元企業を知り、県内就職について考えてもらう機会を創出した(6校10回、延べ1,358名参加)。

⇒より多くの体験の機会をつくっていく必要がある。ワクスタフェス(ふるさとキャリア教育フェスティバル)の内容がさらに充実したものになるよう、知事部局等との連携を含め検討する。

○学校の諸課題未然防止・早期支援プロジェクト……進捗状況[予定どおり]

- ・「学校支援チーム」による市町村教育委員会や各学校への支援を延べ約140回実施し、学校の支援体制づくりが進むとともに、アセスメントにより、困り感を抱える児童生徒への適切な支援につながり、新規不登校数が減少した学校もあった。また、校内サポート教室を中学校15校、小学校3校に設置し、支援員と関わることで、高校への進学や教室復帰につながった。

⇒「学校支援チーム」活用における好事例を全県に周知するとともに、県立学校長OBを配置することで、県立学校へのアプローチを推進する。また、校内サポート教室連絡協議会を開催し、市町村教委間、学校間の連携の強化、好事例の積極的共有を図る。

○地域に根差した魅力ある学校づくり推進事業……進捗状況[予定どおり]

- ・高校立地自治体と知事・教育長による高校魅力化推進に係る連携協定を締結し、県外生徒のための住環境整備や運営経費の支援を行ったり、都市部の中学生・保護者と高校のマッチングイベントへの参加、大型商業施設での県立高校の魅力を生徒自らが発信する出張体験入学イベントを実施した(県外入学生99人、体験入学イベント約900人(東・西部))。

⇒特に中山間地域の高校において、地元自治体等と連携し、それぞれの地域に適した魅力化を推進する。中学生・保護者の普通科志向が続く中、より多くの中学生・保護者が参加できるイベント内容等を検討するとともに、産業界等と連携した教育活動を推進し、高校教育改革実行計画、再編計画の着実な策定、実行に取り組む。

令和8年度全国学力・学習状況調査における鳥取県の結果について

令和8年8月21日
小中学校課

令和8年4月20日（月）から23日（木）にかけて実施した全国学力・学習状況調査に係る本県の調査結果について、以下のとおり報告します。

1 令和8年度全国学力・学習状況調査のポイント

（1）調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、
- ・全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ・学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 - ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（2）結果公表について（文部科学省発表資料から）

○国による結果公表は、以下のとおり3段階に分けて行われます。（令和7年度～）

7月16日（木）	結果公表①（正答率・IRT（※1）バンド分布などの全国平均）
8月3日（月）	結果公表②（全国データに基づく分析結果）
9月以降（秋頃目途）	結果公表③（都道府県・指定都市別データに基づく分析結果）

（※1）IRT（Item Response Theory）：項目反応理論。児童生徒の正答・誤答が、問題の特性（難易度、測定精度）によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。
なお、詳細は9ページ【参考】参照。

○このように3段階で公表される目的は以下のとおりです。

- ・児童生徒の学びへの還元を最優先に、学校への結果返却の時期を前倒しとする。
- ・全国データに基づく分析結果をより効果的に発信する。
⇒これまでとは同時期に全国データに基づく分析と都道府県・指定都市別の平均正答率が公表されていたため、後者に注目が集まり、本調査の目的に基づいて国が発信しているメッセージ（1（1）調査の目的）が十分に届かない状況も見受けられた。
- ・都道府県・指定都市別データの公表までに各都道府県・指定都市の主体的な分析期間を確保する。
⇒都道府県・指定都市が自らの調査結果を公表する時期については、公表データを主体的な分析に基づいて説明することができる準備が整ったタイミングとすることが望ましい。

＜鳥取県の分析及び公表の方針＞

- 令和7年6月6日付けの文部科学省からの通知では「各都道府県・指定都市教育委員会において、自らの調査結果を分析するに当たっては、（略）個々の問題等に着眼して学習指導上の課題を把握したり、質問調査の結果と合わせて総合的に分析したりすることが重要である。」とあり、「これを踏まえた主体的な分析により、（略）教科調査の全体の平均正答率・スコアのみならず、（略）調査結果を多面的に解釈することができる示し方となるよう工夫することが期待される」と示されている。
- 令和8年7月28日（火）に実施された、結果公表②に係る文部科学省の記者レクにおいても、都道府県・指定都市教育委員会に対して、調査結果を多面的に解釈することができる示し方となるよう依頼していること、都道府県・指定都市教育委員会による公表日及び公表内容については教育委員会に委ねており、主体的な分析を行った上で、9月以降に公表されることも想定していることなどについて、説明されている。

以上のことを踏まえ、今回の本県の調査結果においては、各教科の特徴的な問題や課題等を示しました。

また、教科調査の詳細な分析や今後の取組については、市町村教育委員会と連携して、検討・実施していく予定です。

（3）CBT（※2）方式での実施

昨年度の「中学校理科」に続いて、今年度は「中学校英語」がCBT方式で実施されました。IRTが採用され、生徒1人あたり公開問題10問と非公開問題12問の計22問が出題されています。公開問題には全日程に共通する問題7問と、実施日により異なる問題3問があります。非公開問題は幅広い内容・難易度等から出題され、生徒ごとに異なる問題を解いています。

（※2）CBT（Computer Based Testing）：コンピュータ使用型調査

2 本県の実施状況

(1) 小学校6年

実施校116校(小学校110、義務教育学校6)

教科等	国語	算数	質問調査
人 数	4,208	4,206	4,279

(2) 中学校3年

実施校60校(中学校50、分校2、義務教育学校6、特別支援学校2)

教科等	国語	数学	英語	質問調査
人 数	4,091	4,089	3,918	4,097

3 全国における「教科に関する調査」の結果のポイント(文部科学省発表)

(全体)

- ・都道府県別の平均正答率・スコアのばらつきの状況は、狭い範囲に収まっている。

(国語科)

- ・小学校では、文章を引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することに課題が見られた。
- ・中学校では、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることに課題が見られた。

(算数・数学科)

- ・小学校では、立方体の体積の求め方の理解や、基準量、比較量、割合の関係を正しく捉えることに課題が見られた。
- ・中学校では、2直線が平行になる条件の理解に課題が見られた。

(英語科)

- ・社会的な話題に関して読んだことについて、自分の考えを書くことはできているが、その理由を書くことに課題が見られた。
- ・日常的な話題について、自分がしたいことを話すことはできているが、その理由を話すことに課題が見られた。

4 本県における「教科に関する調査」の結果のポイント

(全体)

- ・国語、算数・数学の正答数の分布については、全国と同様の傾向が見られた。

(国語科)

- ・小学校では、つながりや配列を意識して、文章全体の構成や展開を考えることに課題があると考えられる。
- ・中学校では、話合いの状況を捉えることに課題があると考えられる。

(算数・数学科)

- ・小学校では、基礎的な算数の概念理解や、問題を統合的・発展的に考えることに課題があると考えられる。
- ・中学校では、基礎的な数学の概念理解や、数学的に説明することに課題があると考えられる。

(英語科)

- ・基礎的な言語事項についての知識や実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能に課題があると考えられる。

5 本県における各教科の特徴的な問題 () 内は全国平均(公立) ※問題の詳細は別紙参照

(1) 国語

<小学校>

- ① 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題(思考・判断・表現) 鳥取県正答率:78.4%(76.4%)

- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる児童の割合が多い。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、文章から言葉や文を取り上げ、自分の経験と結び付けてまとめる力が身に付いていると考えられる。

- ② 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができるかどうかをみる問題(思考・判断・表現) 鳥取県正答率:54.6%(57.9%)

- 筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えるために、それぞれの段落の内容を考え、読み手が理解しやすいように工夫することに課題があると考えられる。
- 「考えと理由や事例」、「原因と結果」、「疑問と解決」などとのつながりや配列を意識して文章全体の筋道を整えていくなど、文章全体の構成や展開を考える学習場面を設定することが重要である。

<中学校>

- ① 文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うことができるかどうかをみる問題（きのこをとる、多数決をとる、ボールを落とさずにとる、美しい山並みをとる）（知識・技能）

鳥取県正答率：34.7% (39.8%)

- 出題された漢字を正しく書いたり、語句を文章の中で適切に使ったりすることに課題があると考えられる。
- 文や文章の中で正しく漢字を書き、適切に語句を使えるようにするためには、漢字や語句を文章の中で使うことを通して、漢字や語句の量を増すとともに、それらについての理解を深めることが重要である。

- ② 互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができるかどうかをみる問題（思考・判断・表現）

鳥取県正答率：48.3% (52.7%)

- 話し合いの状況を捉え、結論を導くために考えをまとめることに課題があると考えられる。
- 結論を導くために考えをまとめることができるようにするためには、互いの考えを捉える中で見いだした共通点や相違点、新たな提案などを踏まえて話し合うよう指導することが重要である。また、話し合いの状況を捉えて話し合いが進展するような発言かどうかを判断する場面を設定することも大切である。

(2) 算数・数学

<小学校>

- ① 示された2つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題（思考・判断・表現）

鳥取県正答率：58.9% (56.2%)

- 2つの表から合計の人数が一致しているかを確認し、その誤りを表から読み取った根拠を基に記述することができている児童が多い。
- 資料を分類する際に、落ちや重なりがないか調べたり、集計にあたって誤りがないか確かめたりするなど、誤りが起きないように方法を工夫する力が身に付いていると考えられる。

- ② 日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の3つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できるかどうかをみる問題（思考・判断・表現）

鳥取県正答率：40.6% (45.2%)

- 宅配便の送料を箱の3つの辺の合計から求める場面で、問題文に直接的に示されている長さをを用いて、示されていない長さを見いだすことができていることが予想される。図形を構成する要素に着目し、根拠を基に筋道を立てて考えたり、統合的・発展的に考えたりすることに課題があると考えられる。
- 図形の性質や構成の仕方を考える際には、観察や構成などの活動を繰り返して図形の性質を見付けたり、図形の性質を確かめたりすることができるようにすること、図形の計量の仕方について考える際には、図形の性質を基に考えることができるようにすることが重要である。

<中学校>

- ① 累積度数の意味を理解しているかどうかをみる問題（知識・技能）

鳥取県正答率：49.2% (46.0%)

- 全校生徒の睡眠時間の度数分布表から必要な情報を読み取り累積度数を求める問題で、累積度数の意味や求め方を理解している生徒の割合が比較的多いと考えられる。
- データの傾向を的確に捉え、事象を数学的に解釈してデータの活用ができるようにするため、階級の度数、相対度数等と混同しないようにしながら、それぞれの意味を理解できていると考えられる。

- ② 同類項の意味を理解しているかどうかをみる問題（知識・技能）

鳥取県正答率：62.4% (70.5%)

- $7x + 9 - 5x + 7x^2 + 2x$ の式で $7x$ の同類項をすべて書く問題で、同類項の意味理解に課題があると考えられる。
- 同類項について理解することは、文字を使って数に関する性質を説明したり、方程式を解いたりする際に必要であるため、確実に定着させる必要がある。

(3) 英語

<中学校>

- ① 不規則動詞の過去形を理解し、その知識を活用して書く技能を身に付けているかどうかをみる問題（知識・技能）
鳥取県正答率：48.5% (58.9%)

- 動詞の過去形に関する知識の定着に課題があると考えられる。
- 基礎的な動詞の知識を実際のコミュニケーションにおいて活用する学習場面を設定する必要がある。

- ② 社会的な話題について、話を聞き、要点を捉えることができるかどうかをみる問題（思考・判断・表現）
鳥取県正答率：46.0% (55.6%)

- 社会的な話題について、短い説明を聞き、話し手の最も伝えたいことを捉えることに課題があると考えられる。
- ある程度の情報が入ったまとまりのある説明などを聞き、より重要な情報は何かを判断する学習活動を設定することが必要である。

6 本県における「質問調査」の結果のポイント

【主な成果】

- ・「数学の授業の内容はよくわかる」「数学の勉強は得意である」と回答した生徒の割合や、「学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫した」と回答した学校の割合が、昨年度を3ポイント以上上回った。
⇒各学校において、本時のねらいに即した適用題が実施され、教師が生徒の学習状況を丁寧に見取ることで、個に応じた指導や支援の充実が図られていることが考えられる。
- ・「PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理することができる」と回答した児童生徒の割合が、昨年度を2ポイント以上上回った。
⇒各学校において、収集した情報を整理・分析し、課題解決につなげる探究的な学びの視点からの授業改善が進んでいることが考えられる。

【主な課題】

- ・授業で、「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動」を行っていたと回答した児童生徒の割合が、昨年度を2ポイント以上下回った。また、昨年度に引き続き、授業で自分の考えが上手く伝わるよう、工夫して発表することに課題が見られた。
⇒「自分の考えを持ち、工夫して表現する子どもの育成」のための指導のポイントについて示した資料「鳥取県教育の重点」を活用し、授業改善を推進していく必要がある。
- ・「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている」と回答した児童生徒の割合が、昨年度を2ポイント以上下回った。
⇒児童生徒が主体的に学ぶ授業づくりを一層推進していく必要がある。

※上段：小学校、下段：中学校

項目	内容（○：児童生徒質問調査、●：学校質問調査）	R8 値	R7 値	昨年度比
生徒指導	○自分には、よいところがあると思う	84.4 84.0	86.8 85.0	-2.4 -1.0
	○先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う	92.5 92.2	94.5 93.5	-2.0 -1.3
	○困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	69.6 74.2	70.8 75.0	-1.2 -0.8
	○国語の授業の内容はよくわかる	79.9 74.8	79.9 74.9	0.0 -0.1
授業改善	○算数・数学の授業の内容はよくわかる	74.7 70.0	75.2 65.3	-0.5 +4.7
	○英語の授業の内容はよくわかる（中学校のみ・※R5 値、※※R5 値との比較）	— 59.0	— 62.4※	— -3.4※※
	○授業で、各教科で学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行った	70.9 71.6	75.2 74.2	-4.3 -2.6
	○授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えが上手く伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表した	57.1 58.2	58.8 59.0	-1.7 -0.8
	○分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができた	76.6 76.9	79.5 79.1	-2.9 -2.2
	○PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理することができる	65.9 70.4	63.6 67.1	+2.3 +3.3

授業改善	●学習指導において、児童生徒一人一人に応じて、学習課題や活動を工夫した	85.4 85.0	82.1 73.8	+3.3 +11.2
	●全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用した	99.1 96.6	95.7 93.1	+3.4 +3.5
ふるさと キャリア 教育	○将来の夢や目標を持っている	81.2 67.3	83.8 65.2	-2.6 +2.1
	○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	79.4 74.1	80.5 75.7	-1.1 -1.6
	●コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まった	95.7 85.0	97.5 91.4	-1.8 -6.4

7 本県における「教科に関する調査」の状況

教科調査平均正答率（％）・平均ＩＲＴスコア（中学校英語のみ）

	国語		算数・数学		英語(3技能)	
	本県（公立）	全国（公立）	本県（公立）	全国（公立）	本県（公立）	全国（公立）
小学校6年	60	60.9	55	56.4		
中学校3年	60	63.9	53	57.0	469	499

※文部科学省は、平成29年度より小数点以下を四捨五入し整数値で公表している。

※ＩＲＴスコアとは、ＩＲＴに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すもの。

※英語については、現段階では3技能（聞くこと・読むこと・書くこと）のみの結果であり、4技能（話すこと・聞くこと・読むこと・書くこと）の結果については、9月以降（秋頃目途）に教育委員会及び学校に提供される予定。

8 今後の取組

各教科において、知識・技能を問う問題に課題が見られた。基礎・基本となる内容をどのように身に付けさせ、活用の部分とどう融合させていくのかについて、引き続き市町村教育委員会と連携しながら授業改善に取り組んでいく。特に課題が見られた中学校の各教科については、各学校の状況を分析し、市町村教育委員会と協力しながら学力向上支援チームが授業づくりの伴走支援を行う。また、教育研究団体とも連携しながら、授業改善を図る。

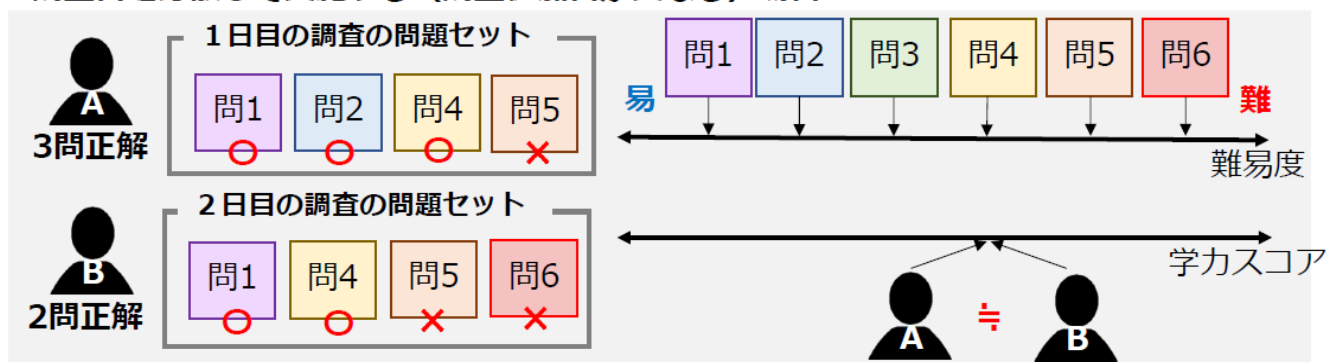
主な取組	内容
とっとり学力・学習状況調査、全国学力・学習状況調査を活用した授業改善	- とっとり学力・学習状況調査の結果を活用し、児童生徒の非認知能力や学習方略、昨年度からの児童生徒の学力の伸びを把握し、授業や学級経営に生かせるよう、その活用方法を情報提供し、PDCAサイクルの構築を支援する。 - 全国学力・学習状況調査で課題がある問題を基に、授業改善を図る方法について担当教員に周知するオンライン研修を実施する。
学力向上支援チームによる指導・支援	学力向上支援チーム（県指導主事、学力向上支援員）が支援を必要とする学校を訪問し、授業改善について直接指導する。
到達度評価問題及び活用問題集「B-PLAN」を活用した支援、授業改善	- 算数・数学について、到達度評価問題をCBT方式で実施し、学習内容の到達度を定期的に把握し、個に応じた適切な手立てを講じることができるようにする。 - 中学校国語・数学において、全国学力・学習状況調査の問題を基に作成した活用問題集「B-PLAN」を活用し、「わかる・できる」授業づくりを推進する。
中学校数学の学校訪問	県教育委員会の指導主事が全校を訪問し、授業改善のポイントを示すとともに、担当教員と授業づくりについて協議及び指導助言を行う。（令和7年度から継続実施）
教育研究団体との連携（中学校国語・数学・英語）	- 国語、英語については、教育研究団体と連携し、全国学力・学習状況調査の結果分析を踏まえた授業改善を図るための授業研修会を実施する。 - 数学については、中学校数学パワーアッププロジェクトとして、各域に拠点校を指定し、教科部会と連携して理論研修や授業研究会を実施する。

【参考】 CBT方式及びIRTについて

- ・令和8年度調査では、「中学校英語」において、ICT端末等を活用しオンラインでテストを受ける「CBT方式」で、複数日時で分散実施された。
- ・IRTに基づいて各設問の正誤パターンの状況から学力を推定し、500を基準にした得点で表すものを「IRTスコア」、IRTスコアを1～5の5段階に区切ったものを「IRTバンド」という。
- ・IRTスコア及びIRTバンドは、難易度の高い問題に正答していると高めに、難易度の低い問題に誤答していると低めに算出される。
- ・これまでの悉皆調査では、各年度の問題の難易度を厳密に調整する設計とはしておらず、年度によって出題内容も異なることから、異なる年度の結果を単純に比較することは適当ではない。しかし、十分な数の問題を準備し、CBTで複数の問題セットを配信する方式をとる場合は、今までと同程度の問題数は調査期間終了後に公開することとし、それ以外の問題については適切に漏洩防止策を講じた上で非公開とし、次年度以降も出題する設計とすることで、IRTに基づき、各教育委員会や学校でも年度をまたいで児童生徒の学力を比較することも可能となる。
- ・令和9年度以降は全ての調査がCBT方式により実施予定。また、「教科に関する調査」のCBT方式では、IRTが採用される。
- ・本県においては、今回のCBT方式での実施に係るトラブルについては、特になかった。

【IRTに基づく調査のイメージ】

調査日を分散して実施する（調査参加日が異なる）場合



生徒Aと生徒Bは異なる問題セットに解答し、その正答数は異なるが、IRTに基づいて算出される学力スコアはほぼ同じと推定される。

令和8年度全国学力・学習状況調査

【小学校】質問調査結果から

色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの

※はランダム方式で実施したため、集計から除外

R8番号	質問事項	R8
		肯定的な回答(%)
1	朝食を毎日食べていますか	94.3
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	83.5
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.1
4	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか(1時間未満)	17.1
5	あなたの家では主に何語で話していますか	97.8
6	学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。	86.6
7	学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。	55.0
8	自分には、よいところがあると思いますか	84.4
9	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	92.5
10	将来の夢や目標を持っていますか	81.2
11	人が困っているときは、進んで助けていますか	93.2
12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.7
13	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	69.6
14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.4
15	学校に行くのは楽しいと思いますか	83.2
16	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	73.2
17	友達関係に満足していますか	90.9
18-1	課題は終わるまでやり通す	※
18-2	課題が難しくなると、さらに努力する	
18-3	物事をじっくり考えることは好きだ	
19-1	物事の仕組みを知ることは好きだ	
19-2	新しいことを学ぶのは好きだ	

令和8年度全国学力・学習状況調査

【小学校】質問調査結果から

色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの
※はランダム方式で実施したため、集計から除外

R8番号	質問事項	R8
		肯定的な回答(%)
19-3	問題の解決策を見つけることは好きだ	※
20	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思う	69.7
21	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	91.3
22	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	76.6
23	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(2時間以上)	16.0
24	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(使っている)(遊びなどの目的に使う時間は除きます)。(2時間以上)	4.7
25	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(3時間以上)	4.7
26	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(10分以上)	47.2
27	昼休みや放課後に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室(電子図書館を含む)にどれくらい行きますか。(年1回以上)	56.8
28	放課後や学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、地域の図書館(電子図書館を含む)にどれくらい行きますか。(年1回以上)	31.3
29	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)(26冊以上)	62.0
30	新聞を読んでいますか(週に1回以上)	12.9
31-1	読書は好きですか	※
31-2	読書は役に立つ	
32-1	学習の計画の立て方や学び方が分かる	
32-2	自分が理解したか、何が分かっているかを確認するために、学習したことを振り返っている	
32-3	学習に関係のない他の作業をしながら、勉強をすることがある	
32-4	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか	
33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う	79.4

令和8年度全国学力・学習状況調査
【小学校】質問調査結果から

色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの
※はランダム方式で実施したため、集計から除外

R8番号	質問事項	R8
		肯定的な回答(%)
34-1	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思っていますか	※
34-2	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思っていますか	
35	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか(ほぼ毎日)	37.0
36-1	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができますか	77.0
36-2	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができますか	83.4
36-3	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができますか	65.9
36-4	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか	72.8
37-1	ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる	※
37-2	ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる	
37-3	ICT機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができる	
37-4	画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよくわかる	
37-5	ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	
37-6	ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	
37-7	ICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができる	
37-8	ICT機器を活用することで、次の学習に取り組む際に、自分の学習の状況や成果を振り返ることができる	
37-9	ICT機器やインターネットの活用について、利用に当たってのルールやマナーに関して学校で教えてもらっている	
37-10	ICT機器やインターネットについて、ルールやマナーを守って活用することができる	
37-11	家庭学習でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度活用していますか。(年1回以上)	
38	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	57.1
39	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	73.9
40	5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	70.9
41	5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか	80.2

令和8年度全国学力・学習状況調査
【小学校】質問調査結果から

色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの
※はランダム方式で実施したため、集計から除外

R8番号	質問事項	R8
		肯定的な回答(%)
42	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	83.2
43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	76.0
44	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができるとおもいますか	79.6
45	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	87.6
46	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	90.9
47	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	76.0
48	総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできている	73.8
49	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	82.9
50	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	78.5
51	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	86.4
52	国語の勉強は得意だ	58.6
53	国語の勉強は好きですか	56.6
54	国語の授業の内容はよく分かりますか	79.9
55	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	90.4
56	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか	77.3
57	国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれますか	73.2
58	国語の授業で、文章などを引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書いている	77.3
59	国語の授業で、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている	75.5
60	算数の勉強は得意だ	56.9
61	算数の勉強は好きですか	55.9
62	算数の授業の内容はよく分かりますか	74.7
63	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.1
64	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できている	81.2

令和8年度全国学力・学習状況調査
【小学校】質問調査結果から

色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの
※はランダム方式で実施したため、集計から除外

R8番号	質問事項	R8
		肯定的な回答(%)
65	算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	80.9
66	算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている	60.8
67	図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役に立つと思う	88.6
68-1	理科の勉強は得意だ	※
68-2	理科の勉強は好きですか	
68-3	理科の授業の内容はよく分かりますか	
68-4	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	
68-5	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	
68-6	理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できている	
68-7	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見出したりすることがあります	
68-8	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	
68-9	理科の授業では、問題に対して答えがどのようになるのか、自分で予想(仮説)を考えていますか	
68-10	理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	
69	英語の勉強は得意だ	57.0
70	英語の勉強は好きですか	65.8
71	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	40.6
72	これまで、学校の授業以外で、英語を使う機会がありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、PC・タブレットなどのICT機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)	40.8
73	家庭学習の課題(宿題)として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか(週1回以上)	23.9

令和8年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問調査結果から

色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの

※はランダム方式で実施したため、集計から除外

R8 番号	質問事項	R8
		肯定的な回答(%)
1	朝食を毎日食べていますか	92.4
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	84.1
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.6
4	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等(以下、「スマートフォン等」)でSNSや動画視聴などをしますか(スマートフォン等を使って学習する時間やゲームをする時間は除く)(1時間未満)	6.6
5	あなたの家では主に何語で話していますか	97.4
6	学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。	86.7
7	学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか。	55.2
8	自分には、よいところがあると思いますか	84.0
9	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	92.2
10	将来の夢や目標を持っていますか	67.3
11	人が困っているときは、進んで助けていますか	90.4
12	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95.2
13	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか	74.2
14	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	96.0
15	学校に行くのは楽しいと思いますか	83.1
16	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか	77.5
17	友達関係に満足していますか	92.0
18-1	課題は終わるまでやり通す	※
18-2	課題が難しくなると、さらに努力する	
18-3	物事をじっくり考えることは好きだ	
19-1	物事の仕組みを知ることは好きだ	

令和8年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問調査結果から

色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの

※はランダム方式で実施したため、集計から除外

R8 番号	質問事項	R8
		肯定的な回答(%)
19-2	新しいことを学ぶのは好きだ	※
19-3	問題の解決策を見つけることは好きだ	
20	あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思う	67.8
21	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	90.5
22	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか	76.9
23	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(2時間以上)	21.0
24	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除きます)(2時間以上)	5.6
25	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)(3時間以上)	9.8
26	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか(電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)(10分以上)	34.4
27	昼休みや放課後に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室(電子図書館を含む)にどれくらい行きますか。(年1回以上)	40.1
28	放課後や学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、地域の図書館(電子図書館を含む)にどれくらい行きますか。(年1回以上)	17.4
29	あなたの家には、およそどれくらい本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く。)(26冊以上)	63.2
30	新聞を読んでいますか(週に1回以上)	9.9
31-1	読書は好きですか	※
31-2	読書は役に立つ	
32-1	学習の計画の立て方や学び方が分かる	
32-2	自分が理解したか、何が分かっているかを確認するために、学習したことを振り返っている	
32-3	学習に関係のない他の作業をしながら、勉強をすることがある	
32-4	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか	

令和8年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問調査結果から

色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの

※はランダム方式で実施したため、集計から除外

R8 番号	質問事項	R8
		肯定的な回答(%)
33	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	74.1
34-1	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいと思っていますか	※
34-2	日本やあなたが住んでいる地域のことに、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	
35	1, 2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか(ほぼ毎日)	67.4
36-1	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成する(文字、コメントを書くなど)ことができますか	84.0
36-2	あなたは自分がインターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)ことができますか	89.7
36-3	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができますか	70.4
36-4	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができますか	79.7
37-1	ICT機器を活用することで、自分のペースで理解しながら学習を進めることができますか	※
37-2	ICT機器を活用することで、分からないことがあった時に、すぐ調べることができますか	
37-3	ICT機器を活用することで、楽しみながら学習を進めることができますか	
37-4	画像や動画、音声等を活用することで、学習内容がよくわかりますか	
37-5	ICT機器を活用することで、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができますか	
37-6	ICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなりますか	
37-7	ICT機器を活用することで、友達と協力しながら学習を進めることができますか	
37-8	ICT機器を活用することで、次の学習に取り組む際に、自分の学習の状況や成果を振り返ることができる	
37-9	ICT機器やインターネットの活用について、利用に当たってのルールやマナーに関して学校で教えてもらっている	
37-10	ICT機器やインターネットについて、ルールやマナーを守って活用することができますか	
37-11	家庭学習でPC・タブレットなどのICT機器をどの程度活用していますか。(年1回以上)	
38	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか	58.2
39	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	78.1
40	1, 2年生のとき受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか	71.6

令和8年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問調査結果から

色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの

※はランダム方式で実施したため、集計から除外

R8 番号	質問事項	R8
		肯定的な回答(%)
41	1, 2年生のとき受けた授業は、自分にあった教え方, 教材, 学習時間などになっていましたか	79.2
42	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができていますか	85.7
43	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	78.1
44	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりできると感じますか	79.0
45	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると感じますか	86.8
46	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	92.4
47	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	84.2
48	総合的な学習の時間では、PC・タブレットなどのICT機器を使って、うまく情報を集めたり、整理したり、発表したりできている	83.6
49	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	87.1
50	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	82.0
51	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか	92.1
52	国語の勉強は得意ですか	51.3
53	国語の勉強は好きですか	58.3
54	国語の授業の内容はよく分かりますか	74.8
55	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと感じますか	88.2
56	国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれますか	77.0
57	国語の授業で、先生は、あなたの学習のうまくできていないところはどこかを伝え、どうしたらうまくできるようになるかを教えてくれますか	76.1
58	国語の授業で、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている	85.7
59	国語の授業で、文章を書いた後に、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている	77.5
60	数学の勉強は得意ですか	47.9
61	数学の勉強は好きですか	53.6
62	数学の授業の内容はよく分かりますか	70.0

令和8年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問調査結果から

色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの

※はランダム方式で実施したため、集計から除外

R8 番号	質問事項	R8
		肯定的な回答(%)
63	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	76.4
64	数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか	63.0
65	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか	75.8
66	数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか	65.7
67	文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができますか	66.0
68-1	理科の勉強は得意ですか	※
68-2	理科の勉強は好きですか	
68-3	理科の授業の内容はよく分かりますか	
68-4	理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	
68-5	将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	
68-6	理科の授業で学習した知識を普段の生活の中で活用できていますか	
68-7	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりしていますか	
68-8	理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか	
68-9	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	
68-10	理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたいことが見つかったか、振り返っていますか	
69	英語の勉強は得意だ	36.9
70	英語の勉強は好きですか	50.1
71	英語の授業の内容はよく分かりますか	59.0
72	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	84.5
73	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	30.0
74	キーボード(画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む)を使って英語を書くことができる	75.7

令和8年度全国学力・学習状況調査

【中学校】質問調査結果から

色付きの質問事項は、今年度初めて聞かれたもの

※はランダム方式で実施したため、集計から除外

R8 番号	質問事項	R8
		肯定的な回答(%)
75	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)	33.6
76	家庭学習の課題(宿題)として、どの程度PC・タブレットなどのICT機器を使用して、英語の音声を聞いたり英語を話す練習をしたりしていますか(年1回以上)	41.3
77-1	1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	※
77-2	1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	
77-3	1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	
77-4	1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	
77-5	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	
78	聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていた	82.9
79	聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていた	83.0
80	キーボード(画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む)を使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか。	59.4

本県における各教科 の特徴的な問題

(1) 国語〈小学校〉①

(2) 林さんは、小川さんと話し合ったことをもとに、改めて「文章」を読んで考えたことを、自分の経験と結び付けてまとめることにしました。あなたなら、「文章」を読んで考えたことをどのようまとめますか。次の条件に合わせて書きましょう。

〈条件〉

- 「文章」を読んで、考えたことを書くこと。
- 「文章」から言葉や文を取り上げて書くこと。
- あなたの経験を書くこと。

三 林さんは、「文章」を読んで、自分の考えをまとめるために、同じ文章を読んだ小川さんと話し合うことにしました。次の「話し合いの様子の一部」をよく読んで、あとの(1)と(2)の問いに答えましょう。

【話し合いの様子の一部】

林さん 私は「苦手」と「嫌い」という題名の文章が心に残ったんだ。この文章の中の(――)部アを示しながら)ここの部分が特に考えさせられたんだ。	小川さん どんなことを考えたの。
林さん ここの部分のあとにいろいろな事例が出てくるでしょ。これらの事例を読んだら、自分にも同じようなことがあると、はっとしたんだ。例えば、自分に置きかえると	小川さん なるほど。文章と自分の経験を結び付けて考えたんだね。
林さん なるほど。文章と自分の経験を結び付けて考えたんだね。	小川さん そうなんだ。この文章を読んで、これまでの自分にはない考えだったけれど、なるほどと思ったよ。小川さんは、どんなことを考えたの。
小川さん ぼくは、この文章を読んで、筆者が書いていることと少しちがうことを考えたんだ。「苦手だからどうしても嫌い」ということもあるだろうし、「得意だけど嫌い」ということもあるんじゃないかなと思うんだけど、どう思う。	小川さん なるほど。文章と自分の経験を結び付けて考えたんだね。

〓 (話し合いが続く) 〓

(1) 国語〈小学校〉②

一 「花山さんの文章の一部」まで書き進めた花山さんは、読み手もいっしょに考えて読むことができる文章になっているかどうか確かめています。花山さんの文章のくふうを説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 調査の目的や手順、調査結果を順序立てて書いている。
- 2 結論を最初に述べ、それを支える事例を複数取り上げて書いている。
- 3 疑問と調べて分かったこと、次の疑問をくり返して書いている。
- 4 複数の事例の長所と短所を比べて書いている。

【花山さんの文章の一部】

暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふう

1 はじめに

夏休みに外出したとき、長そでの服を着ている人を見かけた。暑いときは、そでがア**みじかい**方がすずしいのではないかな。なぜ、長そでの服を着ているのかイ**ふしぎ**に思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

2 どうして暑い日に長そでの服を着るのか

「生活と太陽」という本には、「日差しの強いときにはだを出して日焼けをすると、はだがひりひりしたり、水分が失われたりする。」と書かれている。また、「世界の衣服」という本には、「暑い国の中には、はだのほとんどを衣服でおおっている人たちがいる。皮ふに直しや日光を当てない方がすずしいのである。」と書かれている。①**強い日差しが照りつける**えん天下では、はだを出しすぎないように着る物をくふうすることができそうだ。

では、すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのだろうか。

3 すずしく過ごせる長そでの服の着方はあるのか

「熱中しょうかん境保健マニュアル2022」には、暑さをさける衣服のくふうとして、「ゆったりした衣服にする。」「えり元をゆるめて通気する。」と書かれている。また、「夏のくらし方」という本には、「服とはだの間に風が通るようにえり元やすそをゆったりさせると、すずしくなります。」と書かれている。〈図〉のように衣服の形や着方を意識してくふうすることで、長そでの服でもすずしく快適に過ごすことができそう。

では、衣服の形や着方以外に、快適に過ごすくふうはあるのだろうか。

〈図〉



「石井さんは、『石井さんが書いている随筆』の〈 〉のところに、一文を書き加えようとしています。次の「石井さんが書き加える一文」と「文書作成ソフトに表示された意味と用例」を読んで、あとの問いに答えなさい。

【石井さんが書き加える一文】

何をして遊ぶか多数決をとる子どもたち、飼い主が投げ上げたボールを落とさずにとる犬、遠くの美しい山並みをとる人。

【文書作成ソフトに表示された意味と用例】

〇る
 必要な物を入れて、集める。
 「きのこを〇る」
 取る
 持つ。握る。得る。除く。
 「手に取って見る」
 「免許を取る」
 捕る
 つかまえる。
 「魚を捕る」
 「外野フライを捕る」
 撮る
 カメラなどで写す。
 「写真を撮る」
 「記録映画を撮る」

(1) 「石井さんが書き加える一文」の「多数決をとる」と「文書

作成ソフトに表示された意味と用例」の「□」の~~~~線部には同じ漢字が入ります。「多数決をとる」の~~~~線部のひらがなを漢字に直し、楷書でていねいに書きなさい。

(2) 【文書作成ソフトに表示された意味と用例】を参考にして、

【石井さんが書き加える一文】の線部アとイの正しい漢字の組み合わせとして最も適切なものを、次の1から3までの中から一つ選びなさい。

3	2	1
ア	ア	ア
取る	撮る	捕る
イ	イ	イ
捕る	取る	撮る

2 合唱コンクールの委員である山下さん、石川さん、大森さんは、学級の目標を達成するための課題につ

を読んで、あとの問いに答えなさい。

【話し合いを受けて整理した画面】

- ・音楽科の先生に相談すること
- ・歌声に強弱をつけたい
- ・高い音の部分をつまなく歌いたい
- ・自分たちで取り組むこと
- ・指揮者をよく見て、歌い出上のタイミングをそろえよう
- ・集まったらずきに練習を始めよう
- ・練習後の振り返りのときに、意見や感想を積極的に出そう

大森 現の仕方に関わるものは、音楽者の先生に相談するのがよいと思います。
石川 私もそう思うます。ただ、「歌い出しのタイミングがそろわない」につ
いては、指揮者をよく見てタイミングをそろえるなど、自分たちで取り
組むことができない気がします。

山下 そうですね。では、まずは自分たちで取り組んでみましょう。
大森 賛成です。

山下 いろいろな意見が出たので、^③今まで話し合ったことを受けて、「音楽科
の先生に相談すること」と「自分たちで取り組むこと」に整理してしま
した。どうでしょうか。

石川 先生や学校のみんなに伝える言い方になっていてよいと思います。
大森 この内容をみんなにどのように伝えるかが大切ですね。

山下 そうですね。では、この「自分たちで取り組むこと」は、学校のみんな
などどのように伝えるとよいでしょうか。

大森 この画面をオンライン上の学校のページに載せるのがよいと思います。
タブレット端末を見て、取り組むことをいつでもまとめて確認することが
できることで、練習するときに気を付けることができると思います。

石川 私は、練習中に一つ一つやりとを呼びかけることがよいと思うます。
思います。一つ一つしっかりと意識しながら練習できるところからです。

山下 二つの意見が出ましたね。では、話し合いをまとめていきましよう。
^④

山下 「美しい歌声を響かせよう」という目標に向けて練習するために、学校
のみんなにどのように伝えたいらひでしょうか。



四【話し合いの一部】で山下さんは、——線部④「美しい歌声を響かせよう」という目標に向けて練習するために、学級のみん

条件1と条件2にしたがって、この場の三人に実際に話すように書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 学級のみんなにどのように伝えたらよいかについて、自分の考えと理由を書くこと

条件2 条件1について、大森さんと石川さんの意見の両方を取り上げながら書くこと

※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

(2) 算数・数学〈小学校〉①

6年生のさくらさんは、1年生と仲良くなるために交流会を計画しています。交流会では6年生と1年生がいっしょに、ボール遊び、おにごっこ、昔遊びをします。

(1) 1年生の各学級の人数は、下の表1のとおりです。

表1 1年生の各学級の人数 (人)

学級	1組	2組	3組	合計
人数	29	30	28	87

さくらさんは、1年生にアンケートをとり、どの遊びに参加するかを1つ選んでもらいました。



アンケートは1年生全員から集め、無回答はありませんでした。

下の表2は、集めたアンケートを整理したものです。

表2 1年生が選んだ遊び (人)

遊び \ 学級	1組	2組	3組	合計
ボール遊び	9	14	8	31
おにごっこ	8	7	10	25
昔遊び	12	6	10	28
合計	29	27	28	84



1年生全員からアンケートを集めたのに、表2には、全員分のアンケートが整理されていないのではないのでしょうか。



全員分のアンケートが整理されていない学級があります。

表1と表2を見ると、「全員分のアンケートが整理されていない学級」が1つあることがわかります。

「全員分のアンケートが整理されていない学級」は何組ですか。その学級を書きましょう。

また、そのことは、表1のどの部分と表2のどの部分と比べるとわかりますか。言葉と表1と表2の 中の数を使って書きましょう。

(2) 算数・数学〈小学校〉②

(4) はやとさんは、図2のような直方体の箱に入ったおかしを宅配便で送ろうとしています。

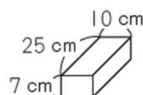


図2

A社の宅配便で送るとき、直方体の荷物の送料は、3辺の長さの合計で決まります。

3辺の長さの合計を求める式

$(\text{縦の長さ}) + (\text{横の長さ}) + (\text{高さ})$

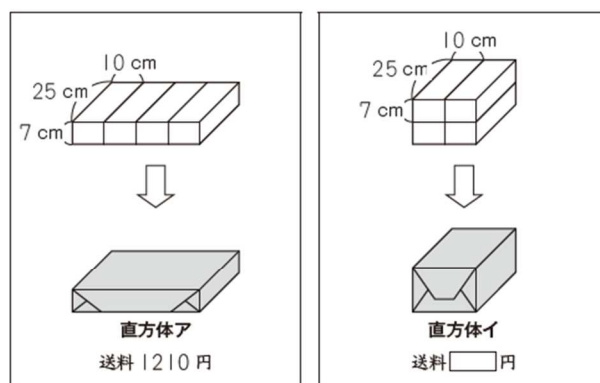
3辺の長さの合計が100 cm以下の荷物の送料は、下の表のとおりです。

A社の送料

3辺の長さの合計	送料
60 cm 以下	920 円
60 cm より大きく 80 cm 以下	1210 円
80 cm より大きく 100 cm 以下	1510 円

図2のおかし1箱の場合、3辺の長さの合計は、 $25 + 10 + 7 = 42$ で42 cmです。42 cmは60 cm以下なので、送料は920円です。

はやとさんは、図2のおかし4箱をまとめて紙で包み、1つの直方体の荷物にして送ります。まとめ方によって送料にちがいがああるかを調べるために、下の2つのまとめ方でできる直方体アと直方体イの送料を求めることにしました。



直方体アの送料は1210円です。

直方体イの送料は何円ですか。

直方体イの送料の求め方を

- ・3辺のそれぞれの長さ (縦の長さ、横の長さ、高さ)
- ・3辺の長さの合計

がわかるようにして、数や言葉を使って書きましょう。

また、送料が何円になるのかも書きましょう。

ただし、紙の厚さは考えないものとします。

(2) 算数・数学〈中学校〉①

- 9 保健委員の桃音さんと悠真さんは、自分たちの学校の生徒の睡眠時間の特徴について、保健だよりで報告することになりました。そこで、全校生徒300人を対象に、ある日の起床時刻と就寝時刻を調査し、睡眠時間を調べました。
- (1) 二人は、全校生徒の睡眠時間の分布の傾向を調べようと考え、次の表にまとめました。

全校生徒の睡眠時間の度数分布表

階級(時間)		度数(人)	累積度数(人)
以上	未満		
4	～ 5	1	
5	～ 6	14	
6	～ 7	75	ア
7	～ 8	126	
8	～ 9	62	
9	～ 10	20	
10	～ 11	2	
合計		300	

全校生徒の睡眠時間の度数分布表の には最小の階級から6時間以上7時間未満の階級までの累積度数が入ります。 に当てはまる値を求めなさい。

(2) 算数・数学〈中学校〉②

- 2 下の式で、 $7x$ の同類項をすべて書きなさい。

$$7x + 9 - 5x + 7x^2 + 2x$$

(3) 英語〈中学校〉①

11

留学生のメイ(Mei)に**昨日の出来事**について質問し、分かったことを下の【表】にまとめました。【表】を見て、例を参考にしながら、①**メイが行った場所**、②**メイがしたことを**、それぞれ英文1文で書きなさい。

【表】

例	メイが起きた時刻	7 時(seven)
①	メイが行った場所	公園(the park)
②	メイがしたこと	テニス(tennis)

<解答欄> ※半角で入力してください

例	Mei got up at seven.
①	
②	

(3) 英語〈中学校〉②

5

<問題文>

あなたは、「住みやすいまちづくり」についての意見交流会で、友達のたけるの話を聞くところです。話を聞いて、**たけるが最も伝えたいことを**、<解答欄>の1から4までの中から1つ選びなさい。

 ← 再生ボタンを押してください

【たけるのスピーチ】



<解答欄>

- ☐ 1 Many people from different countries are living in our city.
- ☐ 2 We need to help people from abroad with many different languages.
- ☐ 3 Our city improved the website for people from abroad.
- ☐ 4 People from abroad can get useful information from the website.

英語の音声スクリプト

Many people from different countries are living in our city. Some of them don't understand Japanese. So, there are some language problems. I think we need to help people from abroad with many different languages. Five years ago, our city made its website in Japanese and English. However, people from abroad wanted it in other languages too. Then, our city improved it. They can get useful information from the website now. It is important to help them with many different languages.

高等学校等教育改革促進事業の再申請状況について

令和8年8月21日
高等学校課

- 高校教育改革推進のパイロットケースとして先導拠点校を創設するための高等学校等教育改革促進事業について、5月15日㍻の第3回公募に申請していたところですが、6月30日に採択結果が公表され、全校不採択でした。
- 7月23日から追加公募が開始され、2回の申請期限（①8月10日（月）12:00㍻、②9月10日（金）12:00㍻）が設けられましたが、本県では、採択後の施設設備整備期間への影響等を勘案し、8月10日に申請を行いました。

1 再申請の概要

申請総額 6,048,241 千円（補助上限 62 億円程度）

類型1：アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成（専門性高度化）

鳥取工業高校

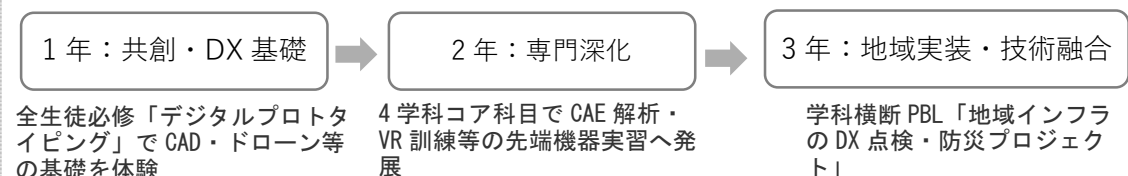
※事業費概算：
27 億 2 千万円

[主な連携校]
八頭高校
倉吉総合産業高校
米子工業高校

地域の持続的発展に貢献するドローン技術等 DX・AX 技術を兼ね備えた人材育成

「くくり募集の強みを活かし、点から線の学びへシフト」を核とし、以下の3段階カリキュラムで、地域の課題をデジタル技術で解決するイノベーション・センターへとブランド転換する。

■教育課程の再設計（年次別の学びの構造）



- ・校内の学科横断に加え、高大、企業と連携した共同研究を行う場として「DX・AX ラボ（新築）」を整備
- ・飛行技術に加え、プログラミングや開発などの技術も学ぶことが可能な「ドローン飛行場（化学実習棟改修）」を整備
- ・熟練技術者の技術継承等を目的とした「モーションキャプチャー関連機器」の整備



倉吉農業高校

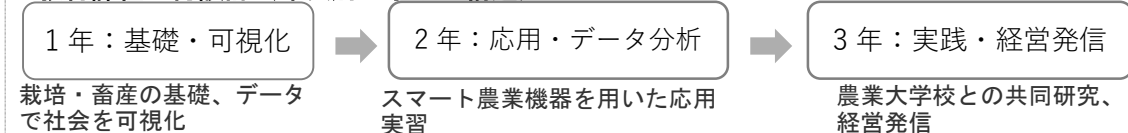
※事業費概算：
14 億 6 千万円

[主な連携校]
鳥取湖陵高校
智頭農林高校

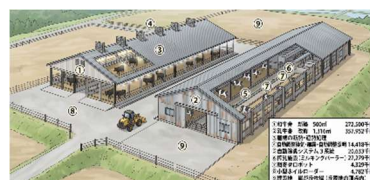
スマート農業による農業経営の学びをととした次世代の農業の担い手育成

農業従事者が減少する中において、単なる生産技術の向上にとどまらず AI 等の最先端技術の実装や、データ分析力の向上、マーケティングやアントレプレナーシップの経営視点を取り入れた「稼げる次世代の農業」の教育モデルを構築することにより、本県の農業の高度化を牽引する。

■教育課程の再設計（年次別の学びの構造）



- ・最新機器の操作技術の習得とデータ分析能力の育成に力点を置いた「スマート農業の推進」
- ・和牛王国鳥取を担う畜産人材育成のための「牛舎整備（和牛舎新築、乳牛舎改修）」整備



類型 2：理数系人材育成

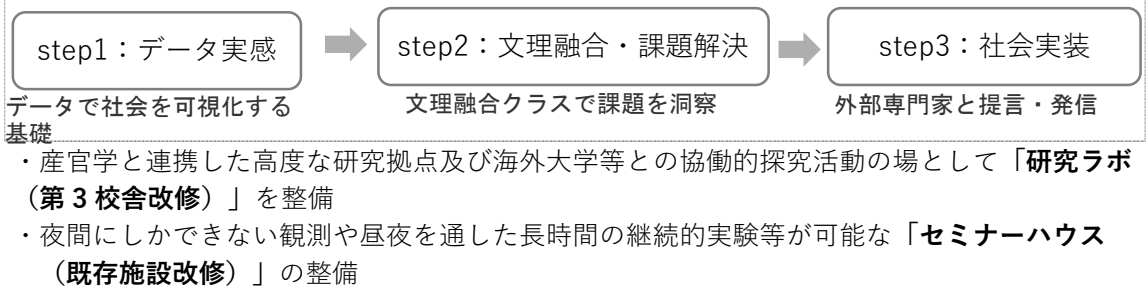
鳥取西高校

※事業費概算：
8 億 8 千万円

[主な連携校]
鳥取東高校
倉吉東高校
米子東高校

探究の高度化をととした社会の進歩をリードする国際性豊かな理数系人材の育成
研究開発を担う人材不足を解消するため、理数系人材（産業イノベーション人材）の育成拠点として教育課程の改編と産官学連携の拠点整備に取り組む。

■教育課程の再設計（年次別の学びの構造）



類型 3：多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

境港総合技術
高校

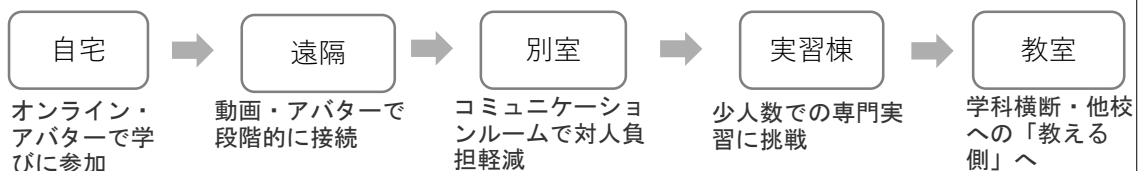
※事業費概算：
9 億 9 千万円

[主な連携校]
境高校
日野高校
鳥取緑風高校
米子白鳳高校

様々な背景を持つ生徒の居場所づくりと地域を教材とした体験を伴う教育活動をととした自己有用感の回復と社会的自立

- 複数の専門学科を設置（水産、福祉、工業）し、自分の所属する学科以外の学びもできる総合選択制高校としての強みと、専門高校ならではの実習（体験を伴う学び）ができる環境を活かし、地域や産業界と密に連携し、様々な背景をもつ生徒の居場所となる環境づくりをめざす。
- 3年間をととして、多様な困り感を持つ生徒の安心感とスキル向上を両立させるため、校内の環境整備、組織体制、学校設定科目をパッケージ化した独自のサポートプログラム（ライフ・リテラシー・プログラム（LLP））を展開する。

■教育課程の再設計（個々の状態に応じた段階的な学び）



- 自宅やコミュニケーションルーム（校内の教室とは異なる居場所）、他校でも実習を受けることが可能な「遠隔システム」の整備
- 特色ある体験的学びを充実させるための専門施設・設備の更新・充実



2 スケジュール

- | | |
|-----------------|--------------------|
| ・再公募開始 | 令和 8 年 7 月 23 日 |
| ・交付申請（再公募第 1 回） | 令和 8 年 8 月 10 日 |
| ・審査ヒアリング | 令和 8 年 9 月 1 日（予定） |
| ・採択結果発表 | 令和 8 年 9 月中下旬頃 |